

# みやざき 議会だより

平成22年  
8月5日発行

## No.59

●発行／宮津市議会  
●編集／議会情報化等特別委員会  
TEL 0772-22-2121(代)  
<http://www.city.miyazu.kyoto.jp>

● 各会派の抱負	10
● 一般質問	6
● 6月定例会のうごき	5
● 会派構成	4
● 市議会の新しい構成	2

学童保育  
養老わいわいクラブ



# 宮津市議会の

# 新しい構成

6月20日に行われた宮津市議会議員選挙で、16名の議員が選出されました。

各議員が所属する会派の構成も決まり、7月21日に改選後の初議会が開かれ、正副議長の選挙、常任委員会の構成並びに正副委員長、特別委員会委員の選任などを行いました。

なお、議員定数の2名削減に伴い、常任委員会を3委員会から2委員会に改めました。

新しい議会の構成は、次のとおりです。

## 正副議長

議長 木内利明



副議長 橋本俊次



## 正副委員長

### 議会運営委員会

委員長 徳本良孝  
副委員長 松本隆

### 常任委員会

### 総務文教委員会

委員長 北仲篤  
副委員長 松原護

### 産業建設福祉委員会

委員長 宇都宮和子  
副委員長 谷口喜弘

## 特別委員会

### 議会情報化等特別委員会

委員長 長林三代  
副委員長 松本隆

### 議会改革特別委員会

委員長 小田彰彦  
副委員長 北仲篤

# 議会の構成

特別委員会		常任委員会		議会運営委員会	委員会名
議会改革特別委員会	議会情報化等特別委員会	産業建設福祉委員会	総務文教委員会		
◎小田 彰彦 宇都宮和子 徳本 良孝	◎長林 三代 嶋田 茂雄 坂根 栄六	◎宇都宮和子 小林 宣明 橋本 俊次 坂根 栄六	◎北仲 篤 嶋田 茂雄 小田 彰彦 松浦登美義	◎徳本 良孝 北仲 篤 小田 彰彦	(◎委員長 ◇副委員長)
◇北仲 篤 松浦登美義	◇松本 隆 河原 末彦 谷口 喜弘	◇谷口 喜弘 木内 利明 安達 稔 松本 隆	◇松原 末彦 河原 三代 長林 良孝 徳本 良孝	◇松本 隆 安達 稔 長林 三代	
・議会の活性化、情報公開の促進に関する事項	・議会広報の編集・発行及び調査・研究に関する事項	・健康福祉室、産業振興室、建設室、上下水道室及び農業委員会の所管に属する事項	・総務室、企画環境室、財務室、市民室、出納管理室及び教育委員会の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項	・本会議の運営について ・次期議会の日程について	所管事項

# 宮津市議会の会派構成

①住所

②当選回数

※年齢は平成22年8月5日現在

## 蒼風会



<p>小 <b>林 宣明</b> (57歳)</p> <p>① 日置</p> <p>② 1回</p>	<p>嶋 <b>田 茂雄</b> (59歳)</p> <p>① 大島</p> <p>② 1回</p>	<p>松 <b>原 護</b> (65歳)</p> <p>① 由良</p> <p>② 2回</p>	<p>安 <b>達 稔</b> (64歳)</p> <p>① 京街道</p> <p>② 5回</p>	<p>橋 <b>本 俊次</b> (72歳)</p> <p>① 魚屋</p> <p>② 5回</p>	<p>小 <b>田 彰彦</b> (66歳) 幹事長</p> <p>① 文珠</p> <p>② 4回</p>
----------------------------------------------------	----------------------------------------------------	---------------------------------------------------	----------------------------------------------------	----------------------------------------------------	--------------------------------------------------------

## 公明党

## 市民連合クラブ



<p>松 <b>本 隆</b> (52歳)</p> <p>① 江尻</p> <p>② 3回</p>	<p>松 <b>浦 登美義</b> (51歳) 幹事長</p> <p>① 滝馬</p> <p>② 4回</p>	<p>河 <b>原 末彦</b> (57歳)</p> <p>① 宮村</p> <p>② 1回</p>	<p>木 <b>内 利明</b> (63歳)</p> <p>① 須津</p> <p>② 5回</p>	<p>北 <b>仲 篤</b> (47歳) 幹事長</p> <p>① 宮村</p> <p>② 3回</p>
---------------------------------------------------	---------------------------------------------------------	----------------------------------------------------	----------------------------------------------------	-------------------------------------------------------

## 無会派

## 宮津新生会

## 日本共産党宮津市議会議員団



<p>坂 <b>根 栄六</b> (32歳)</p> <p>① 須津</p> <p>② 1回</p>	<p>谷 <b>口 喜弘</b> (57歳)</p> <p>① 中津</p> <p>② 3回</p>	<p>徳 <b>本 良孝</b> (57歳) 幹事長</p> <p>① 住吉</p> <p>② 5回</p>	<p>長 <b>林 三代</b> (52歳)</p> <p>① 今福</p> <p>② 2回</p>	<p>宇 <b>都宮 和子</b> (64歳) 幹事長</p> <p>① 木子</p> <p>② 4回</p>
----------------------------------------------------	----------------------------------------------------	--------------------------------------------------------	----------------------------------------------------	---------------------------------------------------------

# 関係機関の議会議員

機関名	委員名	所管
与謝野町宮津市 中学校組合議会議員	嶋田 茂雄 小田 彰彦 坂根 栄六 木内 利明 長林 三代 松本 隆	組合立橋立中学校の設置、 管理及びこれに関する教育 事務
宮津与謝消防組合 議会議員	松原 護 北仲 篤 安達 稔 宇都宮和子 松浦登美義 河原 末彦 橋本 俊次 徳本 良孝	1市2町が共同で運営する 宮津与謝の消防に関する 事務
丹後地区広域市町村 圏事務組合議会議員	木内 利明 橋本 俊次	丹後地区2市2町が広域的 に行う事務
京都府後期高齢者医 療広域連合議会議員	木内 利明	京都府内すべての市町村が 広域的に行う後期高齢者医 療制度の実施に関する事務
京都地方税機構 議会議員	木内 利明	京都府及び府内25市町村 (京都市を除く)が広域的に 行う税業務に関する事務

※宮津市議会議席番号順

## 6月定例会のご様子

6月定例会は、市議会議員選挙（6月20日投票）との関係で会期が5月24日から6月2日までの10日間となりました。人事案件1件（人権擁護委員の推薦）、条例改正1件（宮津市職員の育児休業等）、補正予算1件（土地建物造成事業特別会計）、専決処分5件が提案され、いずれも原案どおり可決・承認し閉会しました。

## 7月臨時会のご様子

7月の臨時議会は21日、1日間の会期で開かれました。今会議では条例改正1件（宮津市議会委員会条例の一部改正）、人事案件1件（公平委員会委員の選任）が提案され、原案どおり可決・同意しました。

### 永年勤続議員表彰

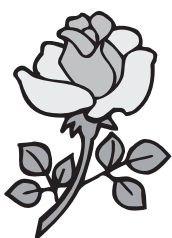
平成22年5月26日に東京で開催された第86回全国市議会議長会定期総会において、次の議員が表彰されました。

【正副議長在職4年以上】

安達 稔

【議員在職15年以上】

木内 利明  
橋本 俊次



# 一 般 質 問

## 市政に対する質問・提言 ここが聞きたい!!

6月定例会では、9人の議員が一般質問を行いました。各議員の質問と理事者の答弁の概要は次のとおりです。

### 天橋立の廻旋橋を 近代化遺産登録に

公明党 松本 隆

**答弁要旨** 所有者である京都府と可能性等を協議

**質問** 近代化遺産の指定の要件としては、おおむね明治維新前後からのもので、築50年を経過している建造物、国土の歴史的景観に寄与しているもの、あるいは造形の規範となっているもの、また、再現することが容易でないものとなっている。天橋立に位置し観光名所の一つである廻旋橋は、大正12年に手動式で設置され、昭和35年に今の電動式になり、ちょうど50年を経過するが、天橋立の世界遺産登録を目指す一方で、与謝野晶子が動く橋の様子を短歌にも残す廻旋橋をさらに広く知っていただき、観光振興につながればと思うが、その廻旋橋を近代化遺産に登録できないか、可能性について尋ねる。

産に登録できないか、可能性について尋ねる。

**答弁** 廻旋橋が電動式になってから50年が経過しようとしていることから、建設年代からは近代化遺産として、国登録文化財への登録の要件は満たしている。その中で、登録文化財として残すためには、次の課題が考えられる。一つに、廻旋橋が昭和35年以降変わっていないことが確かめられること。二つには、専門家による調査を実施して、文化財として価値を明らかにすること。市として、今後、その可能性等について、所有者である

京都府と協議していきたい。



天橋立廻旋橋

### 介護施設の拡充策の課題を問う

社民党 平野 亮

**答弁要旨** 小規模施設は23年開設、特養は23年着工目標

**質問** 40才以上の方が介護保険料を収めている。みんなに平等の権利がある。施設に入れない・利用出来ない市民の不満解消にどう取り組むのか。

①希望に添えられていない施設は②待機者ゼロにする具体的解消策は③退院後の介護施設やリハビリ施設が手薄、その原因と解消策は④団塊の世代の高齢化による施設利用希望者急増が推

察され、対策が急がれるが対応は⑤市民への福祉サービス拡充には、施設建設時の財政支援が欠かせないが考えは⑥施設開設により100人以上の雇用が生じると期待されるが人材確保の具体的方針は⑦地域包括支援センターを庁舎外に独立させ、市民サービスの窓口として機能させるべきと思うがどうか。

**答弁** 平成12年の制度発足後10

年が経過。この間多くの見直しが行われ、特に介護従事者の処遇改善と介護基盤の緊急整備が重点施策となった。

①特養で100人超、グループホームで20人超の待機者があり、デイサービス、シヨートなどの把握は難しいが、現状は希望される日数や回数に添えられていない。②グループホーム・デイサービスは23年開設、特養は23年着工目標。③病院や介護施設に充実を働きかける。④厳しい状況にあるが、財政支援は考えたい。⑤今後も宮津与謝社協が実施する人材養成事業を支援。

高校・専門大学等へ積極的に就職を働きかける。⑦高齢者の保健・福祉・介護の窓口、市の事業との関連上、庁舎内が効率的。



デイサービス・有料老人ホーム建設地(万年)

# 自治会から府への要望にも理解を

宮津新生会 吉田 透

## 答弁要旨 市も全力で要望していく

**質問** 国道178号の里波見橋付近の狭い区間と長江地区の改良は、住民の合意も出来た住民一致の要望である。

また、この要望は、地域住民の受益のみでなく、広く観光客（ドライバー）等国民の要望でもあり、当市が観光都市なら他府県からの観光客への美観と道路整備は重要な観光資源である。

長江の砂浜が美しいと写真を撮る他府県からの方が「ここは台風23号の復旧がまだ終わっていないのですか」という。

府に対し、住民の安心・安全な暮らしを確保するため自治会要望の早期実現に向け強く働きかけを求め、市長の考えを問う。

**答弁** 国道・府道や河川・砂防の改修等、市民生活に係る自治会要望は、これまでから府へ強く要望してきた。

特に、国道178号は丹後地域の生活と産業を支える重要路線であることから、里波見、長江の道路改修は全力で府へ要望してきた。

里波見は、昨年度、詳細設計の説



早期改修が必要とされる長江地区の道路

明がされ、今年度から測量、買収に着手の予定と聞いている。

長江は、早期改修が必要とされるが、相当の事業費を要するため早期事業化は困難で、大型土嚢<sup>ど</sup>による応急対応がなされている。

今後は、里波見は早期完成を、長江は早期事業着手に向け、地区の皆さんと一緒に府へ強く要望していく。

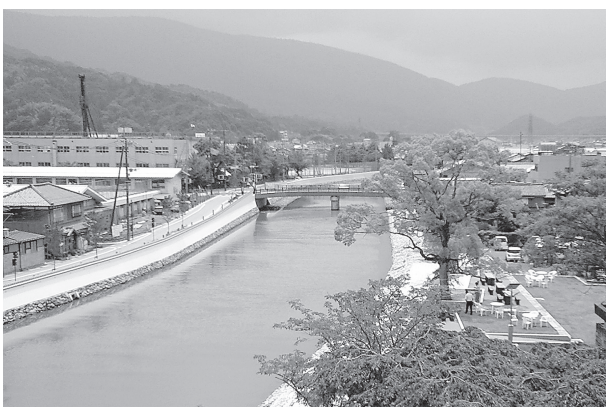
# 井上市政の目標とその達成のための手法は

蒼風会 小田 彰彦

## 答弁要旨 究極の目標は、住民福祉の向上、幸せづくり

**質問** 井上市政も1期4年を経過した。市長は行政の目標をどこに置いて運営をしているのか。またそれをどのような手段で達成しようとしているのか。宮津市はもとより今日本の地方はどこも疲弊の極みである。年金や医療制度など国家的な仕組みがぐらついていく中で、さらに地方では働く場所や学校、介護・医療施設など基本的な生活の場が不足し、住民の生活が崩壊しつつあると言っても過言ではない。「田舎でも暮らせる」ことを実現するためにはやはり産業の振興が大切と考えるが、果たして「まちなか観光」でそれが実現できるのか。市政が目指す目的とその実現のための方法をもっと市民や職員に周知し協働の理解を求めざるべきではないか。

**答弁** 行政の究極の目標は、住民福祉の向上、市民の幸せづくり。その中で、国が根幹的な年金、医療、福祉などの基盤を確立、住民生活に直結する部分は市町村が支えるものと考えている。そして住民生活の維持、向上には、財源と地域の力がなければならない。本市では、観光を基軸とした



城壁が復元された大手川河畔

産業振興をはじめ、自立循環型社会の確立を図っていく中で地域の経済力を高めることを考えている。「まちなか観光」は市街地の観光商業化を進めるものであり、地域内で加工した付加価値の高い農水産物の販売などを通じて、外貨獲得を倍増し、その域内循環を図りたい。農産物の直売所や水産加工販売施設の整備、トリ貝・あわび・アサリの育成等への支援が具体的な政策である。

# 「買い物バス」の運行を求める

日本共産党 馬谷和男

**答弁要旨** 民間団体とタイアップして生活支援に取組む

**質問** 全国的に「買い物難民」といわれる高齢者が増加し、テレビで報道されるほど問題になっている。宮津市でも、最近独居老人世帯が増え、「近くに商店がない」「買い物にバスは欠かせない」「200円バスを早く走らせて欲しい」など、車の運転できず家族がいない老人ほど、買い物のための交通手段が切実に求められている。

行き届いた200円バスも期待されるが、社会福祉協議会が行った年末の「買い物バス」を教訓に、定期の「買い物バス」の制度を作る必要があると思うがどうか。

**答弁** 地域公共交通会議では、通院や買い物等も可能なデマンドバスやスクールバス等の対策を講じてきたところである。現在、民間業者やヘルパーによる買い物援助などが図られているが、今後は情報化システムを活用し、NPO団体や商工関係者とタイアップした生活支援サービスに取り組み。なお、社協の「歳末買物バス」は、歳末に限っての取り組みである。

**質問** 福祉バスを利用することは

きないのか伺う。

**答弁** 運転手の問題など困難。

**側溝の整備について**

**質問** 側溝を整備する際、側溝上の私有物について一定のルールが必要と思うが、解決策を伺う。

**答弁** 側溝上の占用は、一般交通の通行に支障が無いことが条件となっている。公共空間の美化につながる。一時占用のルールについては、今後、研究を行う。



福祉バスの有効利用を

# 田舎暮らしの推進施策創設を

公明党 松浦 登美義

**答弁要旨** 地域の方と一緒に協賛

**質問** 本市は、四季折々のすばらしい自然環境と合わせ、食べる物もおいしく大変に住み心地のよいところ。海も山もあり、老後に暮らすには、あこがれの地域の一つではないか。本市の高齢化率も上がる中、5年10年先を見た時、現在働き盛りの元気な方も高齢者になり、地域を支える元気な方が少なくなる危機感を持たれる方も増えている。集落を支えるためにも都会から田舎暮らしの受け入れを考えることも大事な地域の課題ではないか。各地域、集落にあった受け入れ施策の検討を促す取り組み、地域で考えた施策を市が積極的に支援する等、田舎暮らしの推進施策創設により田舎暮らしの促進を図るべきと考えるが伺う。

**答弁** 昨年7月、推計人口で2万人を割り込み、同時に3人に1人が高齢者という実態であり、中山間地域では、集落組織が機能停止に追い込まれる「限界集落問題」も散見される状況となってきた。こうした中、人口の減少に少しでも歯止めをかけるため、産業振興施策、若者向け住宅など定住環境の整備を進めて

きた。また、空き家や耕作放棄地を活用した田舎暮らしへの取り組みとして、世屋・日ヶ谷地区で「ふるさと共援組織」を立ち上げ、できることから取り組みを進めている。今後も、地域の皆さんと一緒に協賛しながら、人口減少の歯止めと地域の活性化に向けて、全力で取り組む。



**その他の質問**

・妊婦検診助成制度について



# やる気を起こす意識改革を

宮津新生会 下野正憲

## 【答弁要旨】 財政見通しを踏まえ、組織の方向性を定める

**【質問】** 行革大綱2006で職員数の削減計画を前倒して行ったことは、評価をしたい。しかし、一部の職員には追従型、迎合型も見受けられ、公僕としての意識が欠けているのであれば市民にとっては大きな損失である。職員が市民の先頭に立って行動し、市民のために憂い悲しむ気概をもって職務に専念することが必要だ。「私が宮津市を建て直して行くのだ」とやる気を起こさせる意気込みの人材・人づくりが必要と思うが、これまで「やる気」を起こさせる勤勉手当等の人事管理を行い、人事異動等などの様に反映してきたのか、また、類似団体との職員数の比較はどうか伺う。

からの人事異動調査、所属長の内申書等を踏まえ人事評定をしている。職員数は、本市の南北に長い地形と幼稚園・学校への職員配置、新たな産業起こしといった点から企画・観光部門への重点配置で類似団体と比べて20名余り超過している。今後の財政見通しを踏まえ、職員数も含め平成23年度以降の市役所組織の方向性を定めて行きたい。

**【答弁】** 「公平・公正・正確」という公務員に求められる基本的資質以外に、これからは「やる気のある職員」を育てることが重要な鍵と考えている。市民と一緒に行動していく市役所にしていきたい。そのような職員を育成していきたい。平成21年度から「人事評価制度」が導入されたが、本市においては、常に仕事の状態が見えることなどから未導入、現在は本人



市役所庁舎

# 中の茶屋の水道管理を宮津市で

日本共産党 長林三代

## 【答弁要旨】 地元の皆さんと協議検討する

**【質問】** 宮津市は高齢者に対する施策をどのように考えているのか、具体的に3点伺う。

①中の茶屋の水道は、25年程前に地域が管理することを前提に設置した給水施設だが、現在は2軒が利用するのみとなり、今後の管理に住民は不安を募らせている。地域と話し合い、市が管理するなど検討してはどうか。

②し尿くみ取りの定額制は、家族が入院しているなど、数ヶ月でも留守にするときは、何らかの免除を検討してはどうか。

③特別養護老人ホームの待機者が100人を超す本市で、施設の建設が急がれている。建設計画の進捗状況を伺う。

**【答弁】** ①今後の維持管理の不安も理解できる。地元と協議しながら検討する。

②入院や施設入所などの理由で一時的不在の場合、実際の利用人員に対応することが望ましい。宮津市廃棄物減量等推進審議会での審議の中でも、方向性を整理していきたい。

③特別養護老人ホームは、23年に事



過疎・高齢化の進む中の茶屋

# 医療過疎の北部に救命救急医療センターを

日本共産党 宇都宮 和子

## 答弁要旨 ドクターヘリの活用・医療機能拡充を府へ要望

**質問** 与謝の海病院の医師不足や医療体制の不備などから、命を失う人や重い障害が残ってしまう方が増えている。この地方に住んでいたら助かる命も助からない。ドクターヘリの出動回数が異常に多いのは医療不備を物語っているではないか。24時間体制の救命救急医療センターが必要だ。国は小規模の地域救命救急センターを平成20年に6箇所作った。どんな疾患でも迅速かつ適切に対応する地域救命救急医療センターをこの地方にも設置すべきではないか。

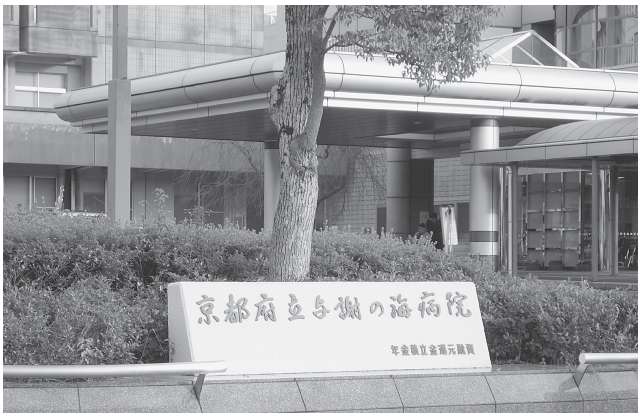
**答弁** 「宮津産業ビジョン」や「宮津まちなか観光推進プラン」で蕪村館の設立が掲げられ、「蕪村まつり」や「シンポジウム」などが行われている。今後、ソフト・ハード両面から関係団体と一緒に検討支援していく。

**答弁** 宮津与謝地域は第2次救急医療体制として、与謝の海病院による医療圏が確立している。またドクターヘリにより搬送体制も確立していることから、まずは与謝の海における専門医の充足等医療機能拡充が必要と認識しているが、府北部地域の救命救急体制の充実へ向けて府へ要望していきたい。

## 「蕪村館設立」でまちなか観光を

**質問** 京都縦貫全線開通を前に、市街地が衰退しないか大変心配されている。観光を天橋立のみとせず、ま

ちなかに「蕪村館」を設立し、資料の収集や展示を観光に生かすべきではないか。



高度医療が望まれる与謝の海病院

## 市議会改選にあたっての各会派の抱負

### 蒼風会

ここで暮らしたい！そんな宮津を目指します

6名の議員で会派を結成いたしました。今回の選挙では、人口や投票率の減少の影響もあったのですが、議員定数を2名削減したにも関わらず、現職の議員は全員が得票を前回よりも落としました。このことは議会や議員にとって冷静に受け止めなければならぬ事と思っております。

宮津市の行財政再建計画は今年で5年の最終年度を迎えております。借金返済と税収減の中、5年で60億円の歳入不足をどう乗り切るかでしたが、どうにか目途も立つところまで来たとの説明が市長からありました。しかし、「危機的な状況」は脱したが、基

本的に逼迫した状況に変わりはないとの認識です。しかし、辛抱だけで今日を乗り切ることはできません。人はお互いに未来に希望が持てる中で、初めて今日の苦勞を共有できるものと思っております。そのためには、先ず現状の説明をきちつとすること。そして、政策の目的や効果、また達成年度を数値化し、絶えず検証して公聴・広報して行くことが必要と考えております。市民・市長（行政）・議員（議会）が目標を共有し、住みたい、住んでよかったという宮津市になるよう努力したいと思っております。

どうかよろしくご指導ください。

### 市民連合クラブ

開かれた議会運営と市民参画の推進を

先日の宮津市議会選挙では皆様のご支援を頂きありがとうございました。この度、市民感覚を忘れることなく市政をチェックするとともに、多様な市民の皆様の声を政策に反映させたいという共通の思いをもった3名で会派を結成することとなりました。また、議長選出会派としての自覚と責任をもって議会活動に取り組んでまいりたいと考えております。

具体的な目標としましては、開かれた議会運営の第一歩として議会基本条例の早期制定に努めます。この条例は、議会の持つ役割、議会報告等議員がやるべき仕事、議会運営のルール等を具

体的に定めるものです。議会改革特別委員会が中心になって取り組むことになりませんが、会派としても研究に努めたいと考えております。また、地域主権時代にふさわしい市民の皆様の声を活かした政策提案ができる集団を目指してまいります。地域の課題や現状に關して必要十分な情報公開のもとで、市民の皆様の声をきめ細やかに聞き取り、有効な政策に反映させることができるよう研鑽に努めたいと考えております。

市民の皆様のご指導とご協力を心よりお願い申し上げます。

## 公明党 宮津再生に獅子奮迅

宮津を元気にとの皆様への熱い思いを受け、公明党の2議席を堅持することができました。大変ありがとうございます。

現在、宮津市は、市民の皆様と『変毒為薬』マイナスをプラスへ変える取り組みにより、台風23号から立ち上がり、復興の流れを、また、財政再建も一定の道筋をつけてきました。いよいよこれからは、宮津の地域力を發揮して何処にも負けない世界一のまちづくりを目指し出発の時であります。そのため、開かれた議会の推進による「議会改革」、経済の地域循環の推進による「地域の活性化」、観光スタイルを

広げ、海上交通や路線バス、KTRの連携強化による「観光の魅力アップ」、地域の特性にあった田舎暮らしの推進による「定住対策」など、宮津のありのままの自然や豊富な資源を活かしたまちづくりを進める事が本市に必要であります。私も公明党は、その実現のために獅子奮迅の戦いで選挙での約束は勿論、皆様のお声を市政に、皆様と共に宮津再生に取り組んでまいります。

ご指導ご鞭撻そしてご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 日本共産党 女性の視点で市政をチェック

定数2名減の下で行われた市議選で、日本共産党は2名の当選を果たすことができました。ご支持いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。

今回は女性だけの議員団となりましたが、これは宮津市政始まって以来のことです。家計を預かり、子育て、介護など女性の役割は行政と密接に関わっています。こうした女性たちの声、お年寄りの願い、そして子どもたちの心を議会へとつなぐ重要な役割を議員団として担っていく決意です。

国と地方の格差は著しいものがありますが、宮津の中でも市街地と周辺部の格差は歴然としています。

特に学校統廃合は、地域存続への危機感と、より良い教育への思いとのせめぎ合いで、大変難しい選択が迫られています。また、公約に掲げた「200円バス」は選挙後も、その実現を「はやく」との声が届けられています。

宮津の市税収入は年々減り続けていますが、これは取りもなおさず市民の収入が減ってきていることを表しています。こうした市民の困難に寄り添い、地域間格差を失くし、市政への厳しいチェックを果たすため、議員団は全力を尽くしてまいります。

## 宮津新生会 安定した市政運営で生活実感の向上と潤いを

『宮津新生会』は平成8年に誕生し現在に至ります。今期は6月20日執行の「宮津市議会議員一般選挙」で当選した市議会議員の中で、政治信条や価値観など共通点が多く、また宮津市の行政状況に対する認識と市民生活向上にかける思いを一にする2人の議員で構成いたしました。市政は皆様に多くのご負担をお掛けしながらも「宮津市行政改革大綱2006」による財政改革が進捗し、新財政健全化法による各種の数値も4年前に比較して大幅な改善がなされました。しかしながら世界的な不況の中、本市においても多くの企業が業務の縮小や停止を選択せ

ざるを得ない状況で、市民の皆様が受ける印象や具体の生活実感として改善されたように思えないのが現状です。そこで、私たち「宮津新生会」は、地域の課題解決には安定した市政運営が必要であり、具体的には市民生活に密着した、短期的な施策と戦略、そして将来を見据えた長期的な施策と戦略に分けて、市民にわかりやすく説明し「市民・行政・議会」が新しい宮津市づくりに力を合わせる必要と考えます。結びあたり「市政改革と議会改革」に取り組むこととお約束し、今後とも皆様のご指導をよろしく申し上げます。

## 9月定例会の予定

(会期 9月1日～9月30日)

- 8月27日 請願・陳情等締切 (午後5時まで)
  - 30日 議会運営委員会
  - 9月 1日 本会議 (提案理由説明)
  - 8日 本会議 (一般質問)
  - 9日 本会議 (一般質問)
  - 10日 本会議 (質疑～委員会付託)
  - 13日 常任委員会
  - 14日 常任委員会
  - 24日 議会運営委員会
  - 28日 本会議 (委員長報告～採決、決算提案理由説明)
  - 30日 本会議 (決算質疑～委員会付託)
- ※開議時刻 10:00



## 表紙写真を募集します！

市議会では、議会だよりを年4回(5月、8月、11月、2月)発行しています。本紙の表紙に掲載する写真を募集します。

- 募集内容 地域の取り組みや行事など、地域の魅力を紹介できる写真
- 応募規定 応募者が撮影し、被写体の承諾を得たもの。
- 規格など 現像写真またはデジタルデータ
- 紙面への掲載 写真は白黒で、タイトルと応募者の氏名を掲載します。
- 応募方法 ①タイトル②住所③氏名④電話番号を明記の上、議会事務局までご応募ください。
- 選考 議会情報化等特別委員会で行います。
- 注意事項 応募写真は原則返却しません。
- 応募・問合せ先 〒626-8501(住所記入不要) 宮津市議会事務局  
TEL. 0772-22-2121(内線252)  
e-mail:gikai@city.miyazu.kyoto.jp

## あ と が き

改選後の臨時会を終え、新たな議会構成も決まり、議会情報化等特別委員会も改めて設置され、新しい委員で「議会だより」を発行することになります。

宮津市も再建軌道に乗ってきたものの依然として厳しい状況は続いています。が、「元気な宮津」を合言葉に心も新たにスタートしました。

宮津市を良くしたい、皆様の暮らしを豊かにしたい、この思いは全議員の望みです。

市民の皆様に喜んでいただける情報を一行でも多くお届けし、読みやすく親しみやすい「議会だより」をさらに目指してまいります。